すたぺんドリル

小5国語　文章問題　文学①-1

| 日付 | 名前 |
| --- | --- |
| 月　日 | |

**問題**　次の文章を、まず声に出して読みましょう。その後、問題に答えましょう。

二人のわかいしん士が、すっかりイギリスの兵隊のかたちをして、ぴかぴかする鉄ぽうをかついで、白熊のような犬を二ひき連れて、だいぶ山おくの、木の葉の ア【　　】したとこを、こんなことを言いながら、歩いておりました。

「ぜんたい、ここらの山はけしからんね。鳥もけものも一ぴきもいやがらん。何でも構わないから、早くイ【　　】と、やって見たいもんだなあ。」

「しかの黄いろな横っぱらなんぞに、二三発お見まい申したら、ずいぶんつう快だろうねえ。ウ【　　】回って、それからどたっとたおれるだろうねえ。」

それはだいぶの山おくでした。案内してきたせん門の鉄ぽう打ちも、ちょっとまごついて、どこかへ行ってしまったくらいの山おくでした。

それに、あんまり山がものすごいので、その白熊のような犬が、二ひきいっしょにめまいを起こして、しばらくうなって、それからあわをはいて死んでしまいました。

（宮沢賢治作「注文の多い料理店」より）

**1**

登場人物について、次の1～3に答えましょう。

1　だれですか。（　　）です。

2　どんな様子で歩いていますか。それが分かるところに―線を引きましょう。

3　登場人物は、どんな人たちですか。合っている内容の文を選びましょう。

ア　鳥やけもので害をおよぼすものは鉄ぽうでうとうと思う人たち。

イ　鳥やけものを鉄ぽうで平気でうちたいと思う人たち。

ウ　鳥もけものもみんな大事な命だと思う人たち。

**2**

【　】ア～ウの中に入る言葉を選んで、文章の中に書き入れましょう。

ギャフン　タンタアーン　キャー　かさかさ　ぎすぎす

くるくる　どたっと　わいわい　ウーウー